

## 安保法「採決」議事録 撤回求めネット署名

学識者ら呼び掛け

安全保障関連法を「採決」したとする参院特別委員会の議事録は事実には反するとして、醍醐聡・東大名誉教授らが十七日、議事録の撤回などを求めるため、インターネットを通じて賛同者の署名を集め始めた。二十七日午後十時に第一次分を締め切り、山崎正昭参院議長や、委員長を務めた鴻池祥肇氏らに申し入れる。

呼び掛け人は醍醐氏をはじめ学識者や弁護士ら。申し入れ書などによると、九月十七日の特別委は速記録に「聴取不能」と記載されたような状況で、安保法の採決が行われた事実は存在しない。それなのに、参院が今

月十一日に公表した議事録は、速記録になかった「いずれも可決すべきものと決定した」「付帯決議を行った」などの記述が追記された。

これについて申し入れ書では「後付けの議事録では（採決が）存在したかのように取り繕う姑息なやり方」として強く抗議。「まやかしの議事録」の撤回や、議事録が誰の指示で作成されたか検証・公表するよう求めている。

醍醐氏らは先に、採決がなかったことの確認や審議続行を求めて三万二千人余りの署名も集め、山崎議長らに申し入れている。

今回のネット署名は、「議事録作成の経緯の検証」「当該議事録の撤回」「賛同署名のお願い」などで検索できる。